

【目次】

1. 友愛労働歴史館・調査研究員会議を開催。
2. 友愛労働歴史館・副館長 間宮悠紀雄氏が定年退職。
3. UA ゼンセン・流通部門の伝承塾「惟一塾」(逢見直人塾長)が開催される。

1.友愛労働歴史館・調査研究員会議を開催。

調査研究員会議が2月17日(木)、友愛労働歴史館展示室にて、9名の出席をもって開催されました。開会にあたり徳田館長より、日本労働会館の現状と友愛労働歴史館の今後のあり方について挨拶を受けた。

報告事項として、①日本労働会館・三田会館の現状について②友愛労働歴史館2021年の活動について③歴史館の役員・調査研究員について。確認事項として、①新たな調査研究員の選任について、現友愛労働歴史館副館長の間宮悠紀雄氏が選任されました。②今後の活動について活発な意見交換がなされた。

2. 友愛労働歴史館・副館長の間宮悠紀雄氏が定年退職。

友愛労働歴史館(東京都港区)は、労働運動や社会運動に関する唯一の歴史資料館です。2012年8月1日、日本労働運動の源流といわれる「友愛会」の創立100周年を記念し、その発祥の地であるユニテリアン教会・惟一館の跡地に友愛会館が建設され、その中に友愛労働歴史館が新装オープンしました。その当時より、友愛労働歴史館の事務局長として、2021年11月10日からは同館の副館長として、長年勤め上げて頂きました。幅広い人脈と奥深い知識、労働運動の歴史を知り尽くした間宮氏。2022年2月末日をもって定年退職し、その後は友愛労働歴史館・調査研究員として、同時に同館の副館長を非専従ながら継続し、より一層、友愛労働運動の歴史の造詣を深めていただくこととなります。

3. UA ゼンセン・流通部門の伝承塾「惟一塾」(逢見直人塾長)が来館・見学。

コロナ禍でもある中、UA ゼンセン・流通部門の伝承塾、逢見直人塾長(元 UA ゼンセン会長・元連合会長代行)の「惟一塾」が日本労働会館にて開催されました。塾生は加盟組合の中から選ばれた13名の方々。この伝承塾は、「温故知新」「生涯学習」の精神により35年前から継続されている伝統のある教育の一環です。当館の間宮副館長のラスト講義を聞き入る塾生。その後、友愛労働歴史館を熱心に見学されました。因みに、塾名の「惟一塾」は、日本労働運動の源流といわれる「友愛会」、その発祥の地であるユニテリアン教会・惟一館の跡地に友愛会館が建設されたことが命名の由来だそうです。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行: 友愛労働歴史館

責任者: 徳田 孝蔵

担当者: 藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール yuairedokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedokishikan.com>

-----惟一館から128年、友愛会から110年-----